



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月24日

上場会社名 石塚硝子株式会社 上場取引所 東・名
コード番号 5204 URL <https://www.ishizuka.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役 社長執行役員（氏名） 石塚 久継
問合せ先責任者（役職名） 執行役員 財務部長（氏名） 山下 登（TEL） 0587-37-2111
半期報告書提出予定日 2024年10月31日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年3月21日～2024年9月20日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	28,823	△3.5	2,505	△21.7	2,768	△14.6	1,944	△21.0
2024年3月期中間期	29,855	1.5	3,198	104.5	3,240	74.3	2,461	—

（注）包括利益 2025年3月期中間期 1,692百万円（△50.7%） 2024年3月期中間期 3,431百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	466.29	—
2024年3月期中間期	589.79	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	98,619	33,765	32.8	7,753.15
2024年3月期	92,115	32,350	33.6	7,418.27

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 32,336百万円 2024年3月期 30,942百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	60.00	60.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年3月21日～2025年3月20日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,000	△1.5	2,800	△48.7	2,800	△47.8	2,100	△55.4	503.49

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) 石塚ウェルネスパッケージング株式会社 除外 1社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	4,219,554株	2024年3月期	4,219,554株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	48,859株	2024年3月期	48,490株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	4,170,888株	2024年3月期中間期	4,172,699株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料につきましては、T D n e t で本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や好調なインバウンド消費など経済活動に持ち直しの動きは見られるものの、中国経済の減速懸念や欧米を中心とした金融政策の見直しによる経済への影響など、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、長期的な視点で会社の方向を示すべきと考え、2019年に制定した新たな企業理念を踏まえ、「ISHIZUKA GROUP 2030～挑戦し続けることにより、躍動する企業へ～」を策定しました。また、これに基づき策定した当期を最終年度とする2024年度中期経営計画「変化するスピードに負けない」では、①2024年度連結営業利益3,500百万円、②中堅・若手人材の育成への取り組み、③2030年度CO2排出量をScope 1及びScope 2において50%削減・Scope 3において25%削減(ともに2020年度対比)に向けたロードマップ作りとその実践に取り組んでおります。

業績につきましては、売上高はガラスびん関連事業及びプラスチック容器関連事業が減収となり、28,823百万円(前年同期比3.5%減)となりました。利益につきましては、売上高の減収に加えて、プラスチック容器関連事業新工場の立ち上げ費用が先行して発生していること、物流問題に対するコスト負担などにより、営業利益2,505百万円(前年同期比21.7%減)、経常利益2,768百万円(前年同期比14.6%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は1,944百万円(前年同期比21.0%減)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

<ガラスびん関連事業>

ガラスびんは、前年度は諸資材価格の高騰に伴う価格改定前の受注があったことや、姫路工場の操業停止に伴い出荷総量が減少したことなどにより、売上高は5,555百万円(前年同期比10.5%減)となりました。

<ハウスウェア関連事業>

ガラス食器は、一般市場向けの販売が落ち込みましたが、企業向けの景品受注が好調であったことにより、全体としては前年度並みとなりました。陶磁器は、国内のリテールの販売が落ち込んだものの、国内外のホテル向けの受注獲得と円安の進行もあり、セグメント全体の売上高は6,974百万円(前年同期比2.0%増)となりました。

<紙容器関連事業>

紙容器は、主要ユーザーからの受注数量が落ち込んだことや充填機販売がありませんでしたが、拡販活動に加えて更なる円安進行や原紙価格の上昇による原紙調達コスト等に対する販売価格改定の取り組みにより、売上高は4,443百万円(前年同期比0.2%減)となりました。

<プラスチック容器関連事業>

PETボトル用プリフォームは、主要ユーザーからの受注が堅調に推移していますが、費用の減少に連動した販売単価の見直しにより、売上高は7,954百万円(前年同期比8.7%減)となりました。

<産業器材関連事業>

産業器材は、原材料価格の高騰に伴う価格改定等により、売上高は1,312百万円(前年同期比4.7%増)となりました。

<その他事業>

抗菌剤は、コロナ禍前の出荷水準に戻りつつあることや原材料価格の高騰に伴う価格改定などにより、セグメント全体の売上高は2,582百万円(前年同期比7.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて6,504百万円増加し、98,619百万円となりました。また、負債合計は5,088百万円増加し、64,853百万円となりました。これは主に、運転資本、有形固定資産及び未収金(流動資産その他)の増加並びに長期未払金(固定負債その他)が増加したことによるものです。

純資産合計は利益剰余金(親会社株主に帰属する中間純利益)の増加により1,415百万円増加し、33,765百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は32.8%(前連結会計年度末は33.6%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ593百万円増加し、4,371百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、6,155百万円(前年同期は3,596百万円の資金増加)となりました。資金増加の主な要因は、税金等調整前中間純利益、減価償却費及び仕入債務の増加によるものです。一方、資金減少の主

な要因は、売上債権の増加によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、5,872百万円(前年同期は2,643百万円の資金減少)となりました。資金減少の主な要因は、有形固定資産の取得による支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は、200百万円(前年同期は1,542百万円の資金減少)となりました。これは主に、セール・アンド・割賦バックによる収入及び長期借入れによる収入によるものです。一方、資金減少の主な要因は、長期借入金の返済による支出及びリース債務の返済による支出によるものです。

また、金融機関と総額2,000百万円のコミットメントライン契約を締結しており、資金の流動性を確保しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2024年4月25日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2024年10月24日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月20日)	当中間連結会計期間 (2024年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,783	4,381
受取手形及び売掛金	19,913	20,561
商品及び製品	9,966	10,017
仕掛品	655	838
原材料及び貯蔵品	4,508	4,624
有償受給に係る資産	3,480	3,226
その他	2,143	4,667
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	44,447	48,315
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,181	12,232
機械装置及び運搬具(純額)	3,794	5,772
土地	15,595	15,595
その他(純額)	14,500	9,505
有形固定資産合計	40,071	43,107
無形固定資産	108	93
投資その他の資産		
投資有価証券	6,239	5,917
その他	1,135	1,096
貸倒引当金	△17	△16
投資その他の資産合計	7,357	6,997
固定資産合計	47,538	50,197
繰延資産	128	106
資産合計	92,115	98,619

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月20日)	当中間連結会計期間 (2024年9月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,998	13,278
短期借入金	3,813	5,394
1年内償還予定の社債	477	977
未払法人税等	738	612
賞与引当金	716	744
その他	8,158	7,272
流動負債合計	24,903	28,280
固定負債		
社債	8,100	7,362
長期借入金	15,376	14,117
役員退職慰労引当金	10	11
汚染負荷量引当金	382	373
退職給付に係る負債	4,575	4,698
その他	6,415	10,011
固定負債合計	34,861	36,573
負債合計	59,765	64,853
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,344	6,344
資本剰余金	4,678	4,678
利益剰余金	11,281	12,976
自己株式	△109	△110
株主資本合計	22,195	23,889
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,712	2,461
繰延ヘッジ損益	-	△16
土地再評価差額金	5,393	5,393
為替換算調整勘定	△113	△125
退職給付に係る調整累計額	753	732
その他の包括利益累計額合計	8,746	8,446
非支配株主持分	1,407	1,429
純資産合計	32,350	33,765
負債純資産合計	92,115	98,619

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年9月20日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年9月20日)
売上高	29,855	28,823
売上原価	21,384	20,816
売上総利益	8,471	8,007
販売費及び一般管理費	5,272	5,501
営業利益	3,198	2,505
営業外収益		
受取利息	9	13
受取配当金	102	102
為替差益	147	209
受取賃貸料	129	157
工場閉鎖関連損失戻入益	-	116
その他	74	56
営業外収益合計	463	655
営業外費用		
支払利息	154	189
賃貸収入原価	130	117
その他	136	85
営業外費用合計	421	392
経常利益	3,240	2,768
特別利益		
段階取得に係る差益	131	-
特別利益合計	131	-
税金等調整前中間純利益	3,371	2,768
法人税、住民税及び事業税	519	502
法人税等調整額	231	262
法人税等合計	751	764
中間純利益	2,619	2,003
非支配株主に帰属する中間純利益	158	58
親会社株主に帰属する中間純利益	2,461	1,944

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年9月20日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年9月20日)
中間純利益	2,619	2,003
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	768	△251
繰延ヘッジ損益	25	△27
為替換算調整勘定	△24	△11
退職給付に係る調整額	41	△20
その他の包括利益合計	811	△311
中間包括利益	3,431	1,692
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3,267	1,645
非支配株主に係る中間包括利益	163	47

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年9月20日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	3,371	2,768
減価償却費	1,515	1,753
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	89	23
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△70	0
汚染負荷量引当金の増減額(△は減少)	△9	△9
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△8	89
受取利息及び受取配当金	△111	△116
支払利息	154	189
為替差損益(△は益)	△160	△253
売上債権の増減額(△は増加)	△4,719	△616
棚卸資産の増減額(△は増加)	189	△268
未収入金の増減額(△は増加)	794	344
前渡金の増減額(△は増加)	△85	41
仕入債務の増減額(△は減少)	2,154	2,268
未払費用の増減額(△は減少)	△120	86
その他	533	477
小計	3,515	6,778
利息及び配当金の受取額	111	115
利息の支払額	△148	△180
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	117	△557
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,596	6,155
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,873	△5,824
投資有価証券の取得による支出	△106	△42
投資有価証券の売却による収入	-	12
貸付けによる支出	△4	△1
貸付金の回収による収入	4	3
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△144	-
解体撤去費用の支出	△482	△28
その他	△35	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,643	△5,872

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年9月20日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年9月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△1,750	30
長期借入れによる収入	1,380	1,130
長期借入金の返済による支出	△747	△838
社債の償還による支出	△267	△238
セール・アンド・リースバックによる収入	626	-
セール・アンド・割賦バックによる収入	-	1,151
リース債務の返済による支出	△609	△516
長期未払金の返済による支出	-	△240
配当金の支払額	△145	△250
非支配株主への配当金の支払額	△27	△25
その他	△0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,542	200
現金及び現金同等物に係る換算差額	57	100
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△532	583
現金及び現金同等物の期首残高	6,069	3,778
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	-	9
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,537	4,371

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年3月21日 至 2023年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガラス びん 関連	ハウス ウェア 関連	紙容器 関連	プラス チック 容器 関連	産 器 業 材 連 関	計				
売上高										
外部顧客への売上高	6,208	6,834	4,452	8,711	1,254	27,461	2,394	29,855	—	29,855
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	137	—	137	2,457	2,595	△2,595	—
計	6,208	6,834	4,452	8,849	1,254	27,598	4,851	32,450	△2,595	29,855
セグメント利益	551	303	307	1,738	205	3,104	89	3,194	4	3,198

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額4百万円には、棚卸資産の調整額6百万円、その他△2百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年3月21日 至 2024年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガラス びん 関連	ハウス ウェア 関連	紙容器 関連	プラス チック 容器 関連	産 器 業 材 連 関	計				
売上高										
外部顧客への売上高	5,555	6,974	4,443	7,954	1,312	26,241	2,582	28,823	—	28,823
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	112	—	112	2,513	2,626	△2,626	—
計	5,555	6,974	4,443	8,067	1,312	26,354	5,095	31,449	△2,626	28,823
セグメント利益	369	303	211	1,174	205	2,264	228	2,492	12	2,505

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額12百万円には、棚卸資産の調整額14百万円、その他△1百万円が含まれております。
3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。